

【分野名：学際・複合・新領域】

大 学 名	国際基督教大学
拠点のプログラム名称	「平和・安全・共生」研究教育の形成と展開
中核となる専攻等名	行政学研究科行政学専攻
拠点リーダー氏名	村上 陽一郎
<p>《拠点形成の概要》</p> <p>本プログラムは、学際複合的視点から「広域平和研究」の主題で世界拠点の形成を目指すものである。具体的には三つのプロジェクトから構成されている。1)「不安な社会」における「平和・安全・共生」研究教育、2)将来世代の「平和・安全・共生」研究教育のための世界ネットワークの形成および展開、3)「平和・安全・共生」の思想と運動、法制と政策に関する研究教育である。</p> <p>純粋な意味での平和研究に加えて、安全な食糧・生活環境・医療・科学技術、紛争解決のあり方、自然環境との共生型の社会や企業の探究、ジェンダー間や異民族間の和解共生のあり方など、多種多様な課題を、共通の問題意識のもとに、協力して具体的に追究していきたい。</p> <p>これまで本学が構築してきた国内および世界各地の大学や研究機関とのネットワークを駆使して、「平和・安全・共生」研究教育の拠点（ハブ）形成を行い、世界平和のメッセージを発信していきたい。この関連では、第一にワシントン州立大学、カルフォルニア大学などを中心とした北米ネットワーク、ブラッセル自由大学、パリ政治学院などを中心とした欧州ネットワーク、ソウル大学、梨花女子大学、台北国立大学などを中心とした東アジアネットワークを形成し強固なものとしていく。</p> <p>「人間の安全保障」、「安全学」、「共生」（コンヴィヴィアリティ）は、本プログラム全体を統合する中枢的理念である。本プログラムは、「広域平和研究」のグランドセオリーを追究すると同時に、具体的な政策提言を行っていく。この関連では数多くの学術書を刊行してだけでなく、同時に食糧の安全や医療の安全などに関して問題解決のためのマニュアル（手引書）やガイド（案内書）の類も出版していく予定である。</p>	